報告第７号

法人の経営状況について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の３第２項の規定により、別紙のとおり次の法人の経営状況を説明する書類を本議会に提出する。

令和８年９月４日

三 朝 町 長　松 浦 弘 幸

有限会社　グリーンサービス

法　人　の　経　営　状　況

（令和７年度決算及び令和８年度予算等）

有限会社　グ　リ　ー　ン　サ　ー　ビ　ス

有限会社　グリーンサービス経営状況報告書

１．令和７年度　事業報告並びに収支決算報告

２．令和８年度　事業計画並びに収支予算書

令和７年度　事業報告並びに収支決算

事業報告

（１）経営規模

下段は前年比増減

	品種	ア　管理面積 （ha）	イ　作業受託面積 （ha）	ウ　生産状況及び 10aあたりの収量	エ　売上状況 （千円）
水稲	コシヒカリ	0.00 0.00	2.59　春作業 +0.08　（田植等）	—袋（—kg）	—
	キヌムスメ	4.77 -0.52		657袋（413kg）	13,834 -2,010
	もち米	— —	12.19　秋作業 +0.28　（収穫）	—	—
大豆	三朝神倉	9.13 +2.72	1.69　春作業 -0.33　（播種）	6,844kg（75kg）	2,096 +1,662
			12.84　秋作業 -2.54　（収穫）		
飼料作物	イタリアンライグラス	7.75 -2.58	0 -5.40	44.4DMt（0.6DMt）	892 -1,163
	スーダングラス	2.92 +2.92		2.5DMt（0.1DMt）	
	赤クローバー	0.51 +0.51		1.2DMt（0.2DMt）	
	WCS	5.52 +1.67		39.9DMt（0.7DMt）	
保全管理		0.00 -0.47	—	—	—
農作業受託		—	—	—	5,710 -252
受託業務		—	—	—	8,620 +209
合計		30.60 +4.25	29.31 -7.91	—	31,152 -1,553

DMt:t単位で乾物重量

ア　管理面積

水稲は、特選三朝米のみとし、4.77haと前年から0.52ha減少させた（中期計画5ha）。
大豆は、前年末のＪＡ在庫量の減少から増産の要請を受け、9.13haと前年から2.72ha増加させた。
（中期計画10ha）
飼料作物は、合計で16.70haと前年から2.52ha増加させた（中期計画15ha）。
合計は30.60haで前年から4.25ha増加させた（中期計画30ha）。

イ　作業受託面積

作業受託面積は、水稲で14.78haと前年を0.36ha上回った。大豆で14.53haと前年を2.87ha下回った。
飼料作物の作業受託は無かった。もともと、米価が低迷する中、所得向上を目的に耕種農家にＷＣＳを勧めることとしていたが、なじみの無いことと、米価が高騰したことで取り組むまでには至らなかった。
過去２年は、畜産農家からの要請であり、自己作業ができる環境が整ったことで無くなった。
合計は29.31haで前年を7.91ha下回った。
中期計画では、いずれも漸次増加すると想定し、水稲で26ha、大豆で30haとしたが、計画を立てるか否かも検討する必要がある。
なお、中期計画では畦畔、法面の草刈りを「その他」の受託作業として計画（4.0ha）したが、トラクター装着モアーによる草刈りはトラクターの導入が遅れたこと、畔塗等の補修はイノシシによる被害が皆無であったことから生じなかった。

ウ　生産状況

水稲の総生産量は、単位収量が413kgと前年の526kgから大きく低下し、657袋と前年から270袋低下した。
単位収量低下の要因は、肥料設計を大きく変更した為で、堆肥を1t/10aから2t/10aに増加させ、有機入り配合肥料60kgを化成肥料20kgに置き替えたことにあり、堆肥の肥効を過大に見積もったことで生じた。
大豆の販売出荷数量は、単位収量が75kg/10aと大きく増加し、6,844kgと前年の約5倍となった。天候に恵まれたことが最大の要因であるが、除草処理体系を播種後1回の土壌処理から播種前1回の土壌処理と栽培中に2回の茎葉処理を行ったことが効果的であった。
飼料作物は、イタリアンライグラスが概ね良質な乾草に仕上がり、単位収穫量も乾物（DM）で0.6t/10aと増加した。また、ＷＣＳも経営所得安定対策交付金の基準量を達成した。ただし、ＷＣＳと新規に導入したスーダングラスの収穫期（9月）に長雨が続き、廃棄品を大量に発生させた。また、9月以降も天候不順が続き、イタリアングラスの播種が計画どおりにはできず、令和8年春収穫予定面積は4.1haに止まった。

エ　売上状況

売上高（販売額）合計は、3,115万円で、中期計画の2,173万円を942万円上回った。
農産物の売上は、1,682万円で前年の1,833万円から151万円減額した。
水稲は、令和７年産特選三朝米単価が前年の1.8倍（R7：16.8千円、R6：9.6千円、R5：6.7千円）となったが、令和６年度産の当年度内の販売量が例年よりも約３割増加していたこと、令和７年度産の販売が低調であったことで1,383万円と201万円減額した。
大豆は、除草体系を見直したことで単収が向上し、面積を拡大させたことと合わせて210万円と166万円増額した。
飼料作物は、湯谷地区での農地集積（交換）でイタリアンの2番草収穫面積が減少したこと、ＷＣＳと新規のスーダングラスの収穫期が長雨に見舞われ、品質低下で販売できなかったことで89万円と116万円減額した。
農作業受託は、水稲、大豆の受託面積の減少が続いていることから、水稲育苗、土木作業、堆肥散布等で27万円の増額があったものの25万円の減額となった。
業務受託は、林道管理で対象範囲の復元により増額したこと、保全会事務費が増額したことで21万円増額した。

（２）経営状況

ア　主要項目の金額（下段は前年比増減）

項　　目	金　　額 （千円）
売 上 高	31,152 -1,553
雑 収 入	18,037 +3,923
補 助 金	25,671 +13,372
製造原価	33,978 +7,932
販売費・ 一般管理	24,588 +935

雑収入は、大半を占める経営所得安定交付金が大豆で744万円、飼料作物で903万円あり、計1,804万円と前年よりも392万円増加した。

補助金は、三朝町水田農業サポート事業から人件費補助で600万円、飼料作物栽培に要する農作業機導入補助で196万円の計796万円を受けた。中山間直接支払交付金が244万円、農作業機械導入の国庫補助1,507万円も受け、2,567万円となった。

中期計画の雑収入・補助金（雑収入と補助金の合計から町補助金を除いた額）の1,662万円に対し、2,567万円と905万円上回った。

製造原価（栽培・管理費用）は、793万円と大きく増額した。その要因は、特選三朝米の購入費668万円増に加え、栽培管理方法の見直しによる農薬費（101万円増）、農作業機械の導入・整備に伴う修繕費（94万円増）原価償却費（96万円増）が主である。

販売費・一般管理は、2,459万円と94万円増加した。約９割強を占める人件費相当部分は、社会情勢を反映させた昇給（国人事院勧告準用）を実施しているため、2,216万円と132万円増額した。一般職の給与・賞与総額は、1,582万円で前年より102万円増額し、うち時間外手当支給総額は129万円と前年度を9万円上回った。

イ　利益（損失）

項　　目	金　　額 （千円）
経常利益	-5,453 -2,142
税 引 前 純 利 益	2,694 -2,271
純 利 益	1,955 -1,652

経常利益は、-545万円と214万円減少した。

税引前純利益は、269万円と227万円減少した。減少の主な要因は、購入単価1.65万円/袋で全量購入している特選三朝米の棚卸単価を、令和８年度の販売単価が低下することを想定し、1.10万円/袋と低く見積もったこと、販売量が減少し在庫が前年よりも314袋増加し813袋になったことである。

令和1年から続いていた帳簿と償却資産台帳の乖離（間違い）54万円を修正損で処理しているので、実際には323万円で174万円の減少となる。

令和7年度収支予算案（令和7年度事業計画（損益計算書））の459万円に対し190万円の減少、令和2年の中期計画の468万円に対し199万円の減少となった。

法人税等諸税は、74万円と62万円減少した。

（３）業務受託

ア　発電所

　　緊急メールの受信も多く、小流木や枯葉による水量低下も頻発していることから、毎日の確認が欠かせない状態に変化はない。

イ　給食配送

　　担当職員が２人から１人に減員となり、委託料金も143万円と91万円の減額となった。

ウ　三朝町農地環境保全活動組織事務

　　特記なし

エ　林道管理

　　災害等による復旧がほぼ終わり、管理範囲が復元され、委託料金も290万円と85万円の増額となった。

貸借対照表

（単位：円）

令和８年３月31日現在

科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
Ⅰ　流動資産		Ⅰ　流動負債	
現金・預金	15,014,439	未払金	2,177,547
商品	8,943,000	短期借入金	0
原材料	1,697,796	預り金	△ 50,279
未収金	2,835,195	仮受金	1,735,781
差入保証金	66,900	賞与引当金	0
還付法人税	30,400	未払法人税等	91,300
未収消費税	2,802,348	未払消費税	0
流動資産　計	31,390,078	流動負債　計	3,954,349
Ⅱ　固定資産		Ⅱ　固定負債	
構築物	285,715	長期借入金	22,800,000
機械及び装置	29,482,391	長期未払金	6,393,275
リース固定資産	2,562,000	固定負債　計	29,193,275
車両運搬具	8,919,541		
果樹園	10,428,572	負債の部　合計	33,147,624
工具器具備品	142,857		
減価償却累計額	△ 36,487,715	Ⅲ　資本金	12,500,000
土地	17,000,001	Ⅳ　資本剰余金	350,000
固定資産　計	32,333,362	Ⅴ　利益準備金	850,000
		Ⅵ　修繕積立金	3,600,000
		Ⅶ　繰越利益剰余金	13,775,816
		Ⅷ　自己株式	△ 500,000
		純資産の部　合計	30,575,816
資産の部　合計	63,723,440	負債・資本の部　合計	63,723,440

損益計算書

（単位：円）

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
Ⅰ　売上原価	30,072,118	Ⅰ　売上高	31,151,536
期首商品棚卸高	5,037,020	水田受託	22,531,846
当期製品製造原価	33,978,098	業務受託	8,619,690
期末商品棚卸高	△ 8,943,000		
Ⅱ　販売費一般管理費	24,588,411	Ⅱ　営業外収益	18,058,349
一般管理費	24,588,411	受取利息	17,059
		雑収入	18,041,290
Ⅲ　営業外費用	2,328		
支払利息	2,328		
Ⅳ　特別損失	17,569,360	Ⅲ　特別利益	25,716,558
過年度損益修正損	534,510	固定資産売却益	45,454
固定資産売却損	0	補助金	25,671,104
固定資産圧縮損	17,034,850		
法人税、住民税等	739,600		
当期純利益（純損失）	1,954,626		
合　　計	74,926,443	合　　計	74,926,443

損益計算書内訳

水稲

（単位：円）

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	608,797	役員報酬		販売収入	13,833,759
種苗費	74,717	給与	3,176,190	作業受託収入	3,109,921
肥料費	787,695	賞与	495,388	雑収入	
農薬費	355,044	退職金掛金	125,797	入場料収入	
車両費	184,125	法定福利費	775,038	その他	
車両燃料費	618,769	福利厚生費	42,772	小計	16,943,680
農具費	351,858	小計	4,615,185	期首棚卸農産物	4,989,020
会議費				期末棚卸農産物	8,943,000
負担金	11,360				
保険料	292,200				
借地料	13,561				
利用料	1,646,664				
米代金	10,737,056				
修繕費	1,326,078				
作業委託料					
減価償却費	247,264				
諸材料費	117,000				
雑費	154,691				
租税公課	63,802				
通信費	7,774				
支払手数料					
支払利息					
販売・一般管理費					
小計	17,598,455				
期首資材棚卸	209,902				
期末資材棚卸	113,363				
小計	17,694,994				
		合　　計	22,310,179	合　　計	20,897,660

収支（営業利益）　　△ 1,412,519

損益計算書内訳

大豆

（単位：円）

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	1,307,479	役員報酬		販売収入	2,096,472
種苗費	331,830	給与	2,312,853	作業受託収入	2,527,594
肥料費	282,446	賞与	360,734	雑収入	
農薬費	1,617,436	退職金掛金	91,603	入場料収入	
車両費	110,475	法定福利費	564,371	その他	
車両燃料費	879,201	福利厚生費	31,146	小計	4,624,066
農具費	312,534	小計	3,360,707	期首棚卸農産物	
会議費				期末棚卸農産物	
負担金					
保険料	415,183				
借地料					
利用料	175,100				
米代金					
修繕費	1,884,207				
作業委託料					
減価償却費	549,335				
諸材料費	26,782				
雑費	219,799				
租税公課	90,655				
通信費					
支払手数料					
支払利息					
販売・一般管理費					
小計	8,202,462				
期首資材棚卸	162,498				
期末資材棚卸	905,981				
小計	7,458,979				
		合　　計	10,819,686	合　　計	4,624,066

収支（営業利益）　　△ 6,195,620

損益計算書内訳

飼料作物

（単位：円）

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	1,326,535	役員報酬		販売収入	891,800
種苗費	657,339	給与	1,983,659	作業受託収入	72,300
肥料費	964,851	賞与	218,320	雑収入	
農薬費	568,751	退職金掛金	55,439	入場料収入	
車両費	73,650	法定福利費	341,563	その他	
車両燃料費	552,921	福利厚生費	18,850	小計	964,100
農具費	189,149	小計	2,617,830	期首棚卸農産物	48,000
会議費				期末棚卸農産物	
負担金	36,000				
保険料	261,104				
借地料					
利用料	27,819				
米代金					
修繕費	1,184,960				
作業委託料					
減価償却費	1,288,385				
諸材料費	32,320				
雑費	138,229				
租税公課	57,012				
通信費	891				
支払手数料	4,072				
支払利息	7,734				
販売・一般管理費					
小計	7,371,722				
期首資材棚卸	925,753				
期末資材棚卸	666,452				
小計	7,631,023				
		合　　計	10,248,853	合　　計	916,100

収支（営業利益）　　△ 9,332,753

損益計算書内訳

業務受託

（単位：円）

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	80,000	役員報酬	360,000	業務受託収入	8,489,690
農薬費	46,710	給与	4,277,443	雑収入	
車両費		賞与	485,010	小計	8,489,690
車両燃料費	152,094	退職金掛金	123,161		
農具費	80,551	法定福利費	758,800		
保険料	40,970	福利厚生費	41,876		
利用料	116,728	小計	6,046,290		
修繕費	302,489				
雑費	68,504				
租税公課	2,000				
通信費	56,049				
支払手数料	380				
小計	946,475				
期首資材棚卸	35,096				
期末資材棚卸	12,000				
小計	969,571				
		合　　計	7,015,861	合　　計	8,489,690

収支（営業利益）　1,473,829

事務

（単位：円）

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃金		役員報酬	240,000	作業受託収入	
減価償却費	220,692	給与	3,770,741	雑収入	130,000
雑費	6,440	賞与	519,818	その他	
租税公課		退職金掛金	132,000	小計	130,000
支払利息		法定福利費	813,257		
販売・一般管理費	2,427,708	福利厚生費	44,882		
小計	2,654,840	小計	5,520,697		
		合　　計	8,175,537	合　　計	130,000

収支（営業利益）　△ 8,045,537

令和８年度　事業計画並びに収支予算

令和８年度計画

（１）重点課題

ア　農地管理は、中期計画の方針を継続させ、令和７年度の融資償還財源の確保ができる作目構成、面積とし、（２）経営計画のとおりとする。

イ　各集落での農地集積をすすめる。

ウ　収入は、不透明な販売額の割合を減らし、補助金、交付金の割合を増やす。

エ　草刈作業の機械化をすすめ、作業受託を開始する。

オ　飼料作物の栽培を増加させる。

カ　令和２年度の利用権更新から無償貸借に変更している農地貸与を地権者の理解のもとに継続する。

キ　三朝町からの給食配送業務、林道保全管理業務、三朝町農地環境保全活動組織からの事務業務、ＪＡからの発電所管理業務の委託については、日常点検の慣行とコンプライアンス、契約内容の順守で委託者の信頼に応える。

ク　労働条件の改善を引き続き行う。

（２）経営計画（損益計算書）

目標値：税抜き前純利益330万円を確保する。

主な前提条件

ア　直接保全面積は水稲6ha（前年+1ha）、大豆4ha（前年-5ha）、飼料作物20ha（前年+4ha）の計30haの前年並みとする。

イ　作業受託面積は、令和６年度の水稲15ha、大豆17ha、計32haとする。

ウ　受託業務は、学校給食配送、林道保全管理、三朝町農地環境保全活動組織事務、発電所管理とする。

エ　単位生産量は、水稲 510kg/10a、大豆 100kg/10a、飼料作物 0.5DMt/10aとする。

オ　販売価格は、米 10,000円/袋、大豆 250円/kg、飼料作物 30円/DMkg、ＷＣＳ 3,000円/ロール（中部統一価格）とする。

損益計算書

（単位：円）

令和８年４月１日から令和９年３月31日まで

科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
Ⅰ　事業費用	34,400,769	Ⅰ　事業収益	37,208,990
水稲	16,386,502	水稲	22,949,800
大豆	4,923,882	大豆	3,369,500
飼料作物	11,796,860	飼料作物	2,400,000
業務受託	956,046	業務受託	8,489,690
事務	337,479		
Ⅱ　事業管理費	25,616,973	Ⅱ　事業外収益	17,360,000
一般管理費	25,616,973	受取利息	
雑支出		雑収入	17,360,000
Ⅲ　事業外費用			
支払利息			
Ⅳ　特別損失		Ⅲ　特別利益	8,718,000
		補助金	8,718,000
法人税	972,500		
当期純利益（純損失）	2,296,748		
合　　計	63,286,990	合　　計	63,286,990

損益計算書内訳

水稲

（単位：円）

令和８年４月１日から令和９年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	720,140	役員報酬		販売収入	19,830,000
種苗費	120,000	給与	3,808,004	作業受託収入	3,119,800
肥料費	1,032,000	賞与	593,932	雑収入	
農薬費	480,000	退職金掛金	150,820	入場料収入	
車両費	184,125	法定福利費	929,210	その他	
車両燃料費	727,964	福利厚生費	51,281	小計	22,949,800
農具費	425,360	小計	5,533,247	期首棚卸農産物	
会議費				期末棚卸農産物	
負担金					
保険料	343,764				
借地料					
利用料	1,646,664				
米代金	8,610,000				
修繕費	1,560,092				
作業委託料					
減価償却費	152,342				
諸材料費	117,000				
雑費	181,990				
租税公課	75,061				
通信費	10,000				
支払手数料					
支払利息					
販売・一般管理費					
小計	16,386,502				
期首資材棚卸					
期末資材棚卸					
小計	16,386,502				
		合　　計	21,919,749	合　　計	22,949,800

収支（営業利益）　1,030,051

損益計算書内訳

大豆

（単位：円）

令和８年４月１日から令和９年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	843,094	役員報酬		販売収入	1,120,000
種苗費	60,000	給与	1,476,334	作業受託収入	2,249,500
肥料費	336,000	賞与	230,263	雑収入	
農薬費	720,000	退職金掛金	58,472	入場料収入	
車両費	110,475	法定福利費	360,247	その他	
車両燃料費	554,639	福利厚生費	19,881	小計	3,369,500
農具費	194,892	小計	2,145,197	期首棚卸農産物	
会議費				期末棚卸農産物	
負担金					
保険料	261,916				
借地料					
利用料	175,100				
米代金					
修繕費	1,188,642				
作業委託料					
減価償却費	251,494				
諸材料費	26,782				
雑費	138,659				
租税公課	57,189				
通信費	5,000				
支払手数料					
支払利息					
販売・一般管理費					
小計	4,923,882				
期首資材棚卸					
期末資材棚卸					
小計	4,923,882				
		合　　計	7,069,079	合　　計	3,369,500

収支（営業利益）　　△ 3,699,579

損益計算書内訳

飼料作物

（単位：円）

令和８年４月１日から令和９年３月31日まで

費　　用	金　　額	費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
賃　金	1,859,718	役員報酬		販売収入	2,400,000
種苗費	1,580,000	給与	2,614,833	作業受託収入	
肥料費	1,320,000	賞与	316,764	雑収入	
農薬費	1,200,000	退職金掛金	80,438	入場料収入	
車両費	73,650	法定福利費	495,578	その他	
車両燃料費	783,729	福利厚生費	27,350	小計	2,400,000
農具費	268,106	小計	3,534,963	期首棚卸農産物	
会議費				期末棚卸農産物	
負担金					
保険料	370,098				
借地料					
利用料	27,819				
米代金					
修繕費	1,679,602				
作業委託料					
減価償却費	2,275,075				
諸材料費	32,320				
雑費	195,931				
租税公課	80,811				
通信費					
支払手数料					
支払利息	50,000				
販売・一般管理費					
小計	11,796,860				
期首資材棚卸					
期末資材棚卸					
小計	11,796,860				
		合　　計	15,331,823	合　　計	2,400,000

収支（営業利益）　　△ 12,931,823

損益計算書内訳

業務受託

（単位：円）

令和８年４月１日から令和９年３月31日まで

費　用	金　額	費　用	金　額	収　益	金　額
賃　金	80,000	役員報酬	360,000	業務受託収入	8,489,690
農薬費	46,710	給与	4,350,896	小計	8,489,690
車両費		賞与	496,466		
車両燃料費	152,094	退職金掛金	126,070		
農具費	80,551	法定福利費	776,724		
保険料	40,970	福利厚生費	42,865		
利用料	116,728	小計	6,153,022		
修繕費	302,489				
減価償却費					
諸材料費					
雑費	68,504				
租税公課	2,000				
通信費	66,000				
小計	956,046				
		合　計	7,109,068	合　計	8,489,690

収支（営業利益）　1,380,622

事務

（単位：円）

令和８年４月１日から令和９年３月31日まで

費　用	金　額	費　用	金　額	収　益	金　額
減価償却費	331,039	役員報酬	300,000	雑収入	
雑費	6,440	給与	3,937,382		
販売・一般管理費	2,427,708	賞与	545,808		
小計	2,765,187	退職金掛金	138,600	その他	
		法定福利費	853,920	小計	0
		福利厚生費	47,126		
		小計	5,822,835		
		合　計	8,588,022	合　計	0

収支（営業利益）　△ 8,588,022